



【仕事場】

3月15日の『靴の記念日』のポスターに使っていただいた作品です。実はこの絵を描いている時期に父は入院中だったため、主人を待ちわびる仕事場と不在の父の姿を重ね、祈りを込めて描いたものです。出来上がったポスターを回復した父と共に笑顔で眺めることが出来た日を今でも忘れられません。

【画歴】 見一 眞理子 (みいち まりこ)

東京都出身、1993年二紀展初出品、1998年初個展（銀座）、1999年「靴の日」のイベントポスターに二紀展出品作が起用される、2002年Slow-Shoes2002「明日を夢みる靴と絵のジョイント展」出品（主催・シューフィルC&Cネットワーク）、シューズ・アート・ギャラリー「◆モチーフとしての靴◆」展出品（広島県福山市 はきもの博物館企画展）、2003年二紀展奨励賞、靴の見本市（浅草）に作品展示、2005年二紀会同人推挙、2006年東京二紀賞、2008年上野の森美術館大賞展、2011年 個展（銀座）
現在 一般社団法人二紀会準会員